



糸 きずな

図書館ボランティアだより

第36号

2020年2月 阪南市立図書館フレンズ広報部会発行



目次

自由*空間	添乗員の喜怒哀楽	P2
ご存知ですか	書庫入れ作業部会の紹介	P2
私のおすすめ本	『古市古墳群を歩く』	P3
私のおすすめ児童書	『こすずめのぼうけん』	P3
図書館からのお知らせ		P4

ピラカンサ

“この指とまれ” あしたの図書館

阪南市立図書館 井上 真理

あしたの図書館 図書館からはじまる、わたしのまちづくり」と題した市民ワークショップを、令和元年十二月八日令和一年一月二十五日の二回にわたって開催しました。講師には、全国各地で図書館整備計画にかかわっている岡本真さんをお迎えし、阪南市の図書館の未来について話し合いました。

岡本さんから、DOはできない、Oとして欲しいは禁止、自ら動く、小さいことから始める」という原則が提示され、前向きな意見がたくさん出る活発な会となりました。意見の例としては、時間や日でゾーニングして、おしゃべりOKや目覚めOKにチャレンジしてほしいでもできそうなこと、市民が講師になる講座や気軽に参加できる読書会等、運営する人が集まればできること、電子図書導入等、経費がかかることなどがありました。ワークショップで見えてきたことは、図書館利用者やワークショップ参加者は高齢の方が多く、若い世代を図書館に呼び込みたい、また、図書館はいろいろなサービスはしていてもPRが足りていないということです。そこで早速、二月二日に十三名の有志の方が集まり話し合いを行いました。

図書館をPRするために、市民イベント

トを企画運営していく会として「この指とまれ」あしたの図書館」を立ち上げました。メンバーを固定せず、何かやりたい人が会に参加し、イベントを企画し、興味のある人がお手伝いする、ゆるやかな会です。ミーティングは毎月第三日曜日の午前中に、サラダホール 階つながりスペースで行います。(二月十五日十時半から十一時、四月十九日十時半から十一時半、五月十七日十時半～十一時半) ぜひお気軽にご参加ください。

好きな本もちよりカフェ

日時：2020年4月19日(日) 10:00~11:30

場所：サラダホール1階つながりスペース

あなたの好きな本を教えてください！

みんなで持ち寄って紹介し合いませんか？ジャンルは小説、マンガ、絵本、スポーツ、雑誌などなんでもOKです。

申し込み不要。出入り自由。聞くだけでもOK！

問い合わせ：図書館 TEL 072-471-9000

一回目の
イベント
決定！



添乗員の喜怒哀楽

学生時代に私は自転車旅行をしていました。高校二年になる春、友達四人と紀伊半島に出かけたのが旅の始まりです。以来、大学を卒業するまで全国を旅して回りました。沖縄県以外全ての都道府県をね。それが縁で、就職難の時代ではありましたが、小さな旅行会社に入ってから今日まで約四〇年、旅行を生業としています。前置きは兎も角、私が今まで経験してきた喜・怒・哀・楽について語ってみたいと思います。

まず、「喜」について、これは何と言っても色々な所に旅行が出来る事。ただでね。まして、日本には四季と言つ素晴らしい季節の移ろいがありますから、同じ所に四回行ける!?! それに、匂の味覚が味わえる! 地酒も。冬なら力二・ふぐですよ。更に、普通の仕事と違って担当者だけでなく、会社のトップや幹部、人間国宝の方とだってお話が出来た事は、自分

の人生にとっても凄いプラスです、この上ない喜びでした。時には極秘旅のお世話も・・・

次に、「怒」について 添乗には行っていませんが、お客様からの怒で忘れもしないのは、料理旅館のおもてなしが全くなっていない事でした。夕食時、早く食べろとばかりに皿を片付けていったらしいのです。まだ皿に料理が残っているのに。落ち着いて食べていられない! お怒りは当然です! 旅行後、残金の集金に何うと金は払えないと言われたのです。ただ、私も頂かなければならないのでそうお伝えすると、その会社のオーナーは、大きなガラスの灰皿で私を殴ろうとしたのです。結果は、大事に至らず無事でしたが、この時の恐怖は、相当なものでした。

「哀」について 何と言ってもお客様が怪我や病気等で救急車のお世話になった事です。小学校の修学旅行での事です。三重県の鳥羽水族館で女生徒が飼育員さんにインタビュウ中に気を失

って倒れ、私が駆けつけた時には胸骨圧迫処置を受けていたので。この時は、死なないでくれ! と祈るばかりでした。救急車に私と校長先生が同乗し、病院に搬送、診察・検査・点滴治療をし、大事に至らず、同日には近鉄電車で帰阪出来ました。他にも滋賀県の有名な石山寺で、参道から五m下に転落し救急車、奇跡的に打撲ですみました。若い女性ですが、宴会で急性アルコール中毒になり、救急車のお世話に。病院でその女性が、苦しさのあまり、もう殺して! と言って、お医者さんに叱られる場面にも同席しました。

最後に、「楽」について 旅行を企画し、お客様から感謝される事の楽しさとやりがい。逆だと怒ですけれど。添乗員が楽しくないと勿論お客様が楽しい筈はないですよ。ね!?! まあ、飽きない仕事、マンネリにならなければいい仕事です。お金を頂いてお客様からあ。りがと。う。と。言。っ。て。頂。く! これからも身体の続く限り、旅行に携わってみたいものです。

おしまい

木田 満男

《ご存知ですか》 図書館フレンズ 書庫入れ作業部会の紹介

サラダホール3階に多くの蔵書を収めた閉架書庫があり、私たちは週に1、2回、蔵書整理をしています。まず返却図書や書庫収蔵になった蔵書などを定位置に戻します。雑誌のバックナンバーや電話帳の交換もします。その後は迷子の蔵書が出ないように、それぞれが正しい場所にあるか確認していきます。基本は分類番号順ですが、さら

に大きさ、著者名、書名、シリーズ通巻など様々で、少し慣れが必要です。また、棚の混み具合を整え、本の並びがでこぼこしないように揃え、見やすく、探しやすく、蔵書のスムーズな出し入れができる状態を保つようにします。地味な作業ですが、書庫の蔵書を直に手にとって確認できる宝探しのような楽しみがあります。 書庫入れ作業部会

筆者が紹介する古市古墳群

古市古墳群は五世紀を中心に築かれた巨大古墳群で、二〇一九年七月、百舌鳥古墳群とともに世界遺産に登録されました。本書はガイドブック「百舌鳥古墳群をあるく」の姉妹編として執筆しました。

まず、序章では、古市古墳群の概要と、大和から河内への大王墓の移動について簡単に触れています。古市古墳群はこれまでに三〇基以上の古墳が確認されています。現在残されているのは四六基です。

第一章では、国内第二位の規模を誇る誉田山古墳（誉田山古墳 心神天皇陵）をはじめ、消滅した古墳も含めて、全ての古墳を最新の考古学的知見とともに紹介しています。併せて絶えず消滅の危機にある古墳群の現状もレポートしました。

第二章と第三章は、古市古墳群成立前夜から造営に関わった人々の謎に迫りました。

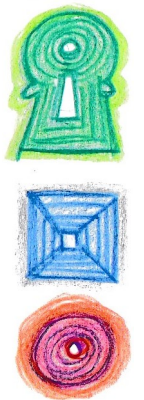


第四章では、巨大古墳の陪塚について、筆者なりの見解を披露しました。なお、難解な考古学用語は頁の欄外で解説しています。

第五章では、天皇家の墓であることを理由に一般公開されていない陵墓古墳の問題にも言及しました。

最終章は巨大開発に立ち向かった研究者と住民の記録として、河内飛鳥の保存運動を紹介しています。

最後に津堂城山古墳の桜や花菖蒲、古室山古墳の紅葉など古市古墳群のおすすめスポットも合わせて紹介しています。



古市古墳群は市街地の中に密集しており、大型バスはもちろん、乗用車ですら入り込めないところが多々あります。考古学は「あるけどオロシイ」とも言われています。自分の足で歩いて古代の息吹を感じとってください。

久世 仁士



《児童書》

『こすずめのぼうけん』 ルース・エインワース/作 石井桃子/訳
堀内誠一/絵 福音館書店 E

主人公こすずめは、母すずめに飛び方を教わり大空に飛び立つのですが、無茶をして、途中で疲れてしまい飛べなくなり、様々な鳥たちに巣で休ませてほしいと頼みます。でも、断られ続けてしまいます。そして、とうとう力つき飛ぶことが出来なくなり、母すずめに探し出してもらうのです。様々な鳥たちの鳴き声が繰り返されるリズム感が良く、母すずめのつばさの下で眠るシーンでは、

安心感とともに愛を感じます。

当時三歳の息子に読んでいましたが、最後のページに差し掛かるとこすずめと同じ気持ちになったかのように安心して私の膝に来ていたのです。その息子は現在高校生、これからもたくさんの経験をすることになるでしょう。我が家を安心して戻れる場所、ホッとして羽根を休めて、また飛び立とうと思える場所にしたいです。 玉置 亜希子

2020
年度

図書館フレンズを募集します



図書館フレンズとして活動してみませんか？初めての方も大歓迎。
誰でもできる簡単な作業から、才能を生かせる作業まで色々な部会があります。

部会名	曜日・時間	内容
配架	開館日 9時～10時	返却本を本棚に戻す
書庫入れ	火・金 10時～12時	書庫で、返却本の整理
図書整備	月・金 午前・午後約2時間	本の修理等
館内装飾	月1回程度 随時	児童コーナーの飾り制作
広報	作成時	ボランティア便りの編集等
生け花緑化整備	随時	花や観葉植物の世話等

- * 無償のボランティアです。交通費等の支給はありません。
- * ボランティア保険はこちらで加入します。

作業風景

↓ 館内装飾



館内が華やかに🌸

↓ 図書整備



本を蘇らせる魔法使いたち★

↓ 書庫入れ



普段は鍵がかかっている書庫。
懐かしい本との再会も!?

説明会があります。

日時：令和2年3月26日(木) 午前10時～12時

(説明会が終わった後、参加ご希望の方には入会の案内があります)

場所：サラダホール2階・視聴覚室

申込：3月1日(日)～3月23日(月)

* 3月27日以降は個別に対応させていただきます。興味をお持ちの方はお気軽にお問合せください。

阪南市立図書館 TEL 072-471-9000